

(別添3)

労働安全衛生マネジメントシステムの評価に関する研修の内容

科 目	範 囲	時 間
1 労働安全衛生マネジメントシステムの目的と意義	(1) 労働安全衛生マネジメントシステムの目的 (2) 労働安全衛生マネジメントシステムの基本的考え方	1時間
2 労働安全衛生マネジメントシステムに関する指針及びそれに従った措置の実施方法	(1) 安全衛生方針の表明 (2) 労働者の意見の反映 (3) 体制の整備 (4) 明文化及び記録 (5) 危険性又は有害性等の調査及び実施事項の決定 (6) 安全衛生目標の設定 (7) 安全衛生計画の作成 (8) 安全衛生計画の実施等 (9) 緊急事態への対応 (10) 日常的な点検、改善等 (11) 労働災害発生原因の調査等 (12) システム監査 (13) 労働安全衛生マネジメントシステムの見直し	5時間
3 危険性又は有害性等の調査の目的と意義	(1) 危険性又は有害性等の調査の目的 (2) 危険性又は有害性等の調査の基本的考え方	2時間
4 危険性又は有害性等の調査等に関する指針及びそれに従った調査の実施方法	(1) 危険性又は有害性の特定 (2) 危険性又は有害性によって生ずるおそれのある負傷又は疾病の重篤度及び発生する可能性の度合（以下「リスク」という。）の見積り (3) リスク見積りに基づくリスク低減の優先度の設定及びリスク低減措置の内容の検討	2時間30分
5 労働安全衛生マネジメントシステムの評価の方法	(1) 評価項目の内容 (2) 評価に当たり留意すべき事項	6時間30分
6 労働安全衛生マネジメントシステムの評価の演習	書類審査、ヒアリング、審査書作成等の演習	12時間